

平成 24 年 8 月 21 日

堺市議会議長様

堺市危機管理監

「大阪 880 万人訓練」に伴う本会議場訓練の実施について

8月30日から9月5日までの「防災週間」に合わせて、災害時の人的被害を軽減するための取り組みとして、府民の自助意識を高めることを目的に、大阪府、大阪市、堺市の3者合同事務局による実行委員会形式の「大阪 880 万人訓練」を別添1のとおり実施いたします。

本市としましても、この「大阪 880 万人訓練」に合わせて、下記のとおり全庁的に取り組み、災害に強いまちづくりの推進に努めてまいりたいと考えております。

つきましては、9月5日は大綱質疑が開催される予定となっておりますが、本会議場におきましても別添2のとおり訓練を実施したいと考えておりますので、ご協力くださるようお願いいたします。

記

1 日時

平成 24 年 9 月 5 日 午前 11 時 00 分開始

2 本市の主な取り組み

- (1) 各局、区役所等において、初動対応訓練や情報伝達訓練等を実施する。
- (2) 小中学校、幼稚園、保育所での避難訓練
各学校園において、一斉に机の下に潜り込む訓練や校庭への避難訓練などを実施する。
- (3) 東区防災訓練（避難所開設訓練）
東区の中学校 4 校（南八下中、日置荘中、登美丘中、野田中）及び白鷺小学校では、学校で実施する避難訓練のほか、地元自主防災組織、生徒・児童、市職員などが協力して避難所開設訓練を実施する。

大阪880万人訓練

Osaka 8.8million drill

9/5 11am

訓練目的

防災に関し「備え」、「考え」、「行動する」時間を府民880万人と共有し、それぞれの場所、状況に応じて、自ら災害を切り抜ける自助力を高める。

【東日本大震災の教訓の一つ】

- 東日本大震災では地震直後、大津波警報が出されたときに住民がとった行動が生死を分けた
- すぐに高台に避難した人は助かり、避難しなかった人や家族を探しに行ったり、家族の帰りを待っていた人の多くが亡くなった



この訓練の狙いは、災害が起こったときに、一人ひとりがどのように行動したら良いのかを日頃から考え、必要な準備をした上で、とっさに行動ができるようにすること。

災害はいつ、どこで、どのように来るか予想できない。日頃から様々な場面を想像して準備しておくことが、いざ!というときに役立つ。

訓練概要

実施日時

平成24年9月5日（水）午前11時

訓練開始の合図

- 防災行政無線（屋外スピーカー・戸別受信機）による放送
- 携帯電話の緊急速報メール（※）
- 館内放送、校内放送等
- 時報

訓練想定

海溝型地震（東海・東南海・南海3連動型地震）

一斉訓練

訓練開始の合図により、一斉に身の安全を図るなどあらかじめ各自で考えておいた訓練を実施する。

訓練の具体例

無理のない範囲で、誰もが参加できる下記のような簡単なことを実行する。

- 個人では ・身を低くする・机の下などに潜り込む
- 各家庭では ・火を消す・避難場所の確認・懐中電灯等の確認
- 学校では ・校内放送・生徒の安否確認・避難マニュアル等の確認
- 事務所では ・館内放送・従業員の安否確認・地震対応マニュアル等の確認

訓練の特色

- 880万府民全員参加をめざす
- 大人数が一斉に簡単な行動をするという、都道府県レベル初の全く新しい防災訓練方式
- 参加者一人ひとりが自ら考えて行動する
- 毎年実施し、東日本大震災の教訓を風化させない

当日まで

どんな準備が必要かを考える

当日

実際にやってみる

終わった後

反省点を考えて、来年の訓練につなげる

(※) エリアメール (NTT-docomo) / 緊急速報メール (au, Softbank) について

- ◇ 大阪府、大阪市、堺市では各携帯電話会社との間で「災害・避難情報メール」配信サービスの契約をそれぞれ交わしており、災害や避難の情報をそれぞれの区域内にあるエリアメール／緊急速報メール対応の携帯電話端末に直接配信するもので、今回の訓練では大阪府から一斉にメール送信する予定をしています。
- ◇ 対応機種については、各携帯電話会社にお問い合わせください。
- ◇ 「災害・避難情報」を受信した端末は、通話中か電源オフでない限り、マナーモードにしても強制的に鳴動します。授業中や会議中、式典中、映画館、図書館など、携帯電話が鳴ってはいけない場合は電源を切ってください。
- ◇ 「災害・避難情報」を受信するときの通信料は無料です。
- ◇ 大阪府域を対象に「災害・避難情報」を配信しますが、他府県との境界付近にある端末は、大阪府外でも鳴動することがあります。

大阪880万人訓練実行委員会合同事務局
 大阪府危機管理室・大阪市危機管理室・堺市危機管理室
 (お問合せ 堺市危機管理室 072-228-7605)

○9月5日「大阪880万人訓練」に伴う議会の動き（案）

11:00

◇訓練緊急速報メール送信（大阪府発信）・・・対応機種のみ受信

◇防災行政無線屋外スピーカー・戸別受信機・庁内放送（出先含む）で訓練放送（堺市危機管理室）

「訓練。訓練。緊急地震速報。大地震です。強い揺れに備えてください。」

議員・理事者

机の下に潜る・しゃがむ・頭を守るなど身の安全を図る。

◇防災行政無線屋外スピーカー・戸別受信機・庁内放送（出先含む）でサイレン吹鳴（堺市危機管理室）

サイレン吹鳴（1分間）

◇危機管理センターからの情報（堺市内の震度6弱観測等）を財政課担当を通じて、議場の市長にメモを渡す。その際、危機管理監も市長席で調整を行う。

市長（マイク使用）

「議長。危機管理センターからの情報で、ただ今の地震による堺市内の震度は6弱を観測したとのことでもあります。相当な被害の発生が予想されるので、これより災害対策本部会議等の対応をしたいと思います。」

議長（マイク使用）

「地震による災害対応のため、暫時休憩とします。
議員及び市長以下理事者の方は、至急対応に当たってください。
議会事務局の方は、本会議場での傍聴者の安全確認を行ってください。以上。」

全員一旦退席

議会事務局は、傍聴者の安全確認等を行う。

○時○○分 議会再開